

2020年6月30日

JFE エンジニアリング株式会社

J&T 環境株式会社

使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社
「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

- 業界を超えた12社による共同出資会社 —
— 米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、
環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に挑戦 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

J&T 環境(株)は、サントリー-MONOZUKURI エキスパート(株)、東洋紡(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、大日本印刷(株)、凸版印刷(株)、(株)フジシール、北海製罐(株)、(株)吉野工業所のプラスチックのバリューチェーンを構成する12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン（代表取締役社長：横井恒彦 所在地：東京都港区）を設立し、6月から事業を開始しました。

今後も(株)アールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学(株)なども出資への検討を進めています。

J&T 環境では、本年5月に「使用済みペットボトルをもう一度ペットボトルに戻す」、B to B シフトに貢献する国内最大のペットボトルリサイクルレジン製造工場新設について、プレス発表を行いました。

今回の使用済みプラスチックのケミカルリサイクルは、ペットボトルのマテリアルリサイクルに加えて、プラスチックリサイクルの幅を広げる意義深い取り組みと位置づけております。

当社は、経営方針にもある通り「最新の技術を駆使したりサイクル事業に真摯に取り組み」、世界的な課題となっている使用済みプラスチックの処理を通して、循環型社会の実現に貢献していきたいと考えています。

今回、他社と共同で設立した新会社に当社として積極的に関わりながら、次世代の技術開発に取り組んでまいります。

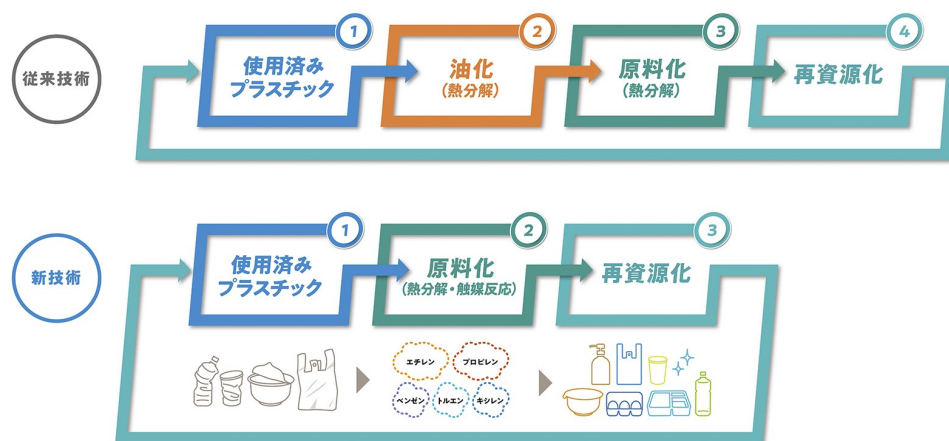
●使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{※1}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



今回設立した(株)アールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

●会社概要

- ▼会社名 株式会社アールプラスジャパン
- ▼事業開始 2020年6月5日
- ▼本社所在地 東京都港区台場2-3-3
- ▼代表取締役社長 横井恒彦
- ▼事業内容 使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

●アネロテック社（Anellotech Inc.）について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

▽J&T 環境と協栄産業株式会社の合併会社の設立について（5月7日プレス）

<https://www.jt-kankyo.co.jp/topics/>

▽J&T 環境の使用済みプラスチックリサイクルの取り組み

https://www.jt-kankyo.co.jp/business/products/plastic_raw_material.html

以 上

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
J F E エンジニアリング株式会社 総務部広報室 045-505-8953